

支援機器・書籍の貸出

弘前大学 教育推進機構 学生特別支援室

○支援機器の貸出について

- ・支援機器の利用を希望の方は学生特別支援室にお問い合わせください。
- ・貸出期間は、コーディネーターとご相談の上、決定致します。
- ・一覧にないもので利用したい機器がある場合は、学生特別支援室までご相談ください。
- ・貸出期間が過ぎても返却されない場合は、ご連絡させていただきます。

※貸出の詳細は、利用基準をご覧ください。

○書籍の貸出について

- ・書籍を借りたい場合は、学生特別支援室にお問い合わせください。
- ・貸出期間は3ヵ月です。
※貸出期間の延長、又は返却が遅れる場合は学生特別支援室までご連絡ください。
- ・貸出期間が過ぎても返却されない場合は、ご連絡させていただきます。
- ・紛失・破損した場合は、原則として同一図書を自分で購入し弁償させていただきます。

問い合わせ先

弘前大学 教育推進機構 学生特別支援室

TEL：0172-39-3266

メール：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

車椅子（自走型）

障害の有無に関わらず、怪我や体調不良時の際も利用が可能です。



車椅子（介助型）

肢体不自由に関わらず、怪我や体調不良時の際も利用が可能です。

使用者自身が自走することができないため、介助者が後ろから押して移動します。



筆談器

口頭での会話が難しい場合にサポートとして使用します。

ボタンひとつで書いたものを消去することができます。

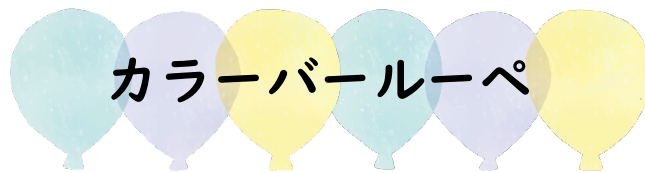


Ami voice WT01

音声認識専用の Bluetooth マイクです。

聴覚障害により講義内容が聞こえない際に、PC と接続することで音声認識を行います。



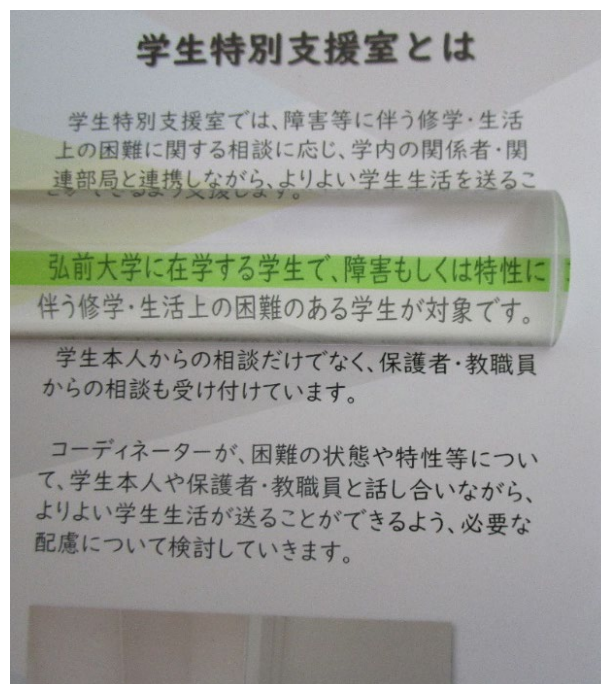
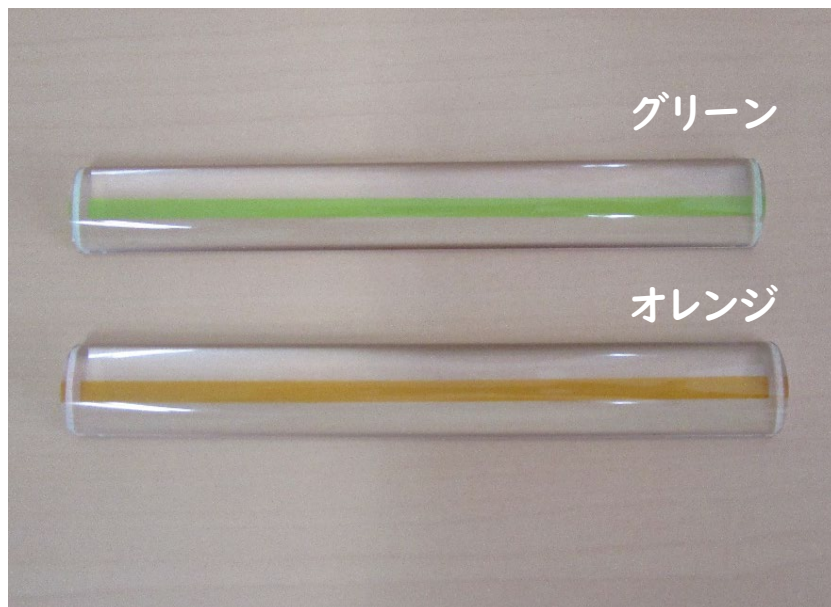


カラーバーレーペ

小さい文字を拡大して読むことができ、読み飛ばしを防止します。

A4サイズ用紙短辺と同じ長さで真ん中にあるカラーのラインが
瞬時に文字を読み取ります。

グリーン・オレンジ・ピンクの3色あります。



リーディングトラッカー

読み飛ばしを防止します。拡大はされません。

全8色ありますので、見やすい色を選んで利用することができます。



Q. 障害学生が相談する場所ですか？
A. 障害の有無に関わらずご相談を受け付けております。
保健管理センターとも連携しており、精神疾患や持病をお持ちの
学生さんの配慮についても対応しています。

Q. 誰が話を聞いてくれるの？
A. 学生特別支援室には、現在コーディネーター2名が在室しております。
は
「コーディネーター紹介」をご覧になってからご予約ください。
KIHARA

Q. どのような支援がつけられるの？
A. 困難な状況により配慮内容は変わりますが、下記のような支援例が
あります。
・使用教室や座席への配慮 ・グループワークや発表場面での配慮
・重要事項の文書による伝達 ・講義中の入室・退室の許可
・提出物の期限延長 ・支援機器の持ち込みの許可
※記載した支援は一部の例です。

ワイヤレスノイズ キャンセリングヘッドホン

聴覚過敏や周囲の音が気になる時に使用します。

必要な「音」を聞こえるようにし、騒音だけをカットしてくれます。



ワイヤレスノイズ キャンセリングイヤホン

聴覚過敏や周囲の音が気になる時に使用します。

必要な「音」を聞こえるようにし、騒音だけをカットしてくれます。

ヘッドホンと比べ、装着しても目立たないため授業中も使用しやすいです。



ロジャー送信機・受信機

補聴器を使用している方や、聞き取りの難しい場所での「聞こえ」をサポートします。

送信機で集音した声を、補聴器または受信機から直接聞くことができます。

話者の声が背景雑音より大きくなるように保つため、

騒音下および離れた距離でも聞き取りやすいです。

送信機



受信機



ハンズフリー救護担架

肢体不自由者や負傷者の救助をする際に役立つ担架です。

両手が空くため、ドアの開け閉めや手すりを使用しながらの移動も可能です。

※介助者が2名必要です。



後付け自動ドア開き戸

特別な理由により、ドアを開けることができない場合に

自動でドアを開けることができる後付けの機器です。



※この他に、ノートパソコン・iPadも貸出を行っています。